News Release

平成３０年１月３１日

農事組合法人いりあいファーム滝の頭への資金対応について

株式会社秋田銀行（頭取　新谷明弘）、農林中央金庫（略称：農林中金）秋田支店、秋田みなみ農業協同組合（略称：ＪＡ秋田みなみ）および日本政策金融公庫（略称：日本公庫）秋田支店農林水産事業の４行は、秋田県男鹿市の農事組合法人いりあいファーム滝の頭（代表理事　佐々木一義）が、国の補助事業である「産地パワーアップ事業」および「ネットワーク型園芸拠点整備事業」を活用して行った設備導入に対し、以下のとおり協調して融資を行いましたので、お知らせいたします。

１　ライスセンター建設について

(1)　男鹿市の五里合地区は高齢化率が高い地域であり、個人農家の作業負荷が増加しています。特に、収穫した稲の運搬、乾燥、出荷は、個々の農家にとって大きな負担です。五里合地区は、個人で乾燥機を所有する農家がほとんどですが、乾燥機を 20 年前後使い続けている農家が多く、機械の老朽化も課題となっていました。

(2)　地域の農家が共同して利用できる施設として、「産地パワーアップ事業」を活用し、ライスセンター設立を行う運びとなりました。収穫した稲をライスセンターで受入れすることで、収穫から出荷までの一貫した作業をまとめて行うことが可能となります。

(3)　ライスセンターの色彩選別機等を通すことで、米の品質が向上し、収穫した米の単価が上がる等、農業所得の向上に繋がります。

２　園芸メガ団地でのネギの生産について

(1)　五里合地区は、これまで 10a 以下の小区画であり、狭い農道と土水路で営農に苦慮していることに加え、排水処理に問題を抱えており、収穫した作物の収量、品質に課題がありました。

(2)　本地区の圃場整備には地域から強い要望があり、大区画の圃場整備を実施しています。そうしたなか、当社では転作作物として、安定した単価および契約栽培による農業経営の安定化を図るべく、「ネットワーク型園芸拠点整備事業」および「産地パワーアップ事業」を活用し、新たにネギの生産を開始しました。

秋田銀行
地域とともに歩み、
地域の発展とともに
栄える

３　各行協調した融資対応について

当行、農林中金、ＪＡ秋田みなみおよび日本公庫は、秋田県の農業振興策と同調する事業計画などを踏まえ協調して融資を行いました。具体的には、ライスセンター建設資金や乾燥機導入費用について、農林中金が窓口となって日本公庫のスーパーＬ資金１億3,850万円を融資するとともに、融資実行までのつなぎ資金についてＪＡ秋田みなみが融資を行いました。また、当行はネギ機械や稲作機械導入にかかる融資を対応し、平成３０年度以降の機械導入にかかるサポートについても行っていく予定です。

当行、農林中金、ＪＡ秋田みなみおよび日本公庫は、今後も、農業所得の向上および農業法人の規模拡大ニーズに応えるべく、県内各金融機関で連携し、農業者さまの様々なニーズに応えることで農業者の所得向上の支援を全力で推進してまいります。

４　農事組合法人いりあいファーム滝の頭　概要

代表理事：佐々木一義

住　　所：秋田県男鹿市五里合箱井字町屋田158

設　　立：平成２７年７月２４日

生産品目：米、ネギ

特　　徴：　農業従事者の高齢化による作業負担の軽減が課題であるとの代表の認識から、農地を集約のうえ、個々の農家の作業負担軽減および作業の効率化を図ることを目的に平成２７年７月に当社を設立。その後、順調に業容を拡大し、現在米104ha、ネギ1.4haの生産を行っています。今後も段階的に基盤整備を行い、平成３３年度以降、男鹿市の五里合地区の約186ha規模の農地で、生産を行う予定です。

（以　上）